

特集1: ERINA 設立25周年記念シンポジウム

ERINA 設立25周年記念シンポジウムの概要

ERINA 企画・広報部長

中村俊彦

去る10月1日、ERINA は設立して満25年の記念日を迎え、記念シンポジウムと祝賀会を開催させていただいた。ERINA 設立の経緯や25年間の歩みについては、10月に『ERINA25周年記念誌』を発行し、本誌読者にもお送りさせていただいたので、ご参照いただくこととして、本号では記念シンポジウムの詳細を特集する¹。

日 時	2018年10月1日(月) 14:00~17:30		
会 場	朱鷺メッセ4階「マリンホール」		
次 第	あいさつ	ERINA代表理事・所長	河合 正弘
	祝 辞	新潟県知事	花角 英世
		新潟市長	篠田 昭
		外務省欧州局日露経済室長	島 桂一
		経済産業省通商政策局韓国室長	伊集院健夫
	記念講演「北東アジアの中の日本」	公益財団法人国際文化会館理事長	明石 康
	パネルディスカッション「北東アジアを展望する」		
	パネリスト	早稲田大学政治経済学術院教授	深川由起子
		日揮株式会社取締役	鈴木 正徳
		一般社団法人東北経済連合会専務理事	小林 正明
		新潟国際情報大学学長	野崎 茂
		ERINA代表理事・所長	河合 正弘
	コーディネーター	公益社団法人日本経済研究センター首席研究員	伊集院 敦

基調講演で明石氏は、ERINA が設立された1993年が奇しくも国連の大型平和維持活動 UNTAC (国連暫定統治機構) によってカンボジアが平和と民主主義への門出を迎えた年であることを挙げながら、北東アジアにおける複雑な歴史と現実と言及するとともに、これからの北東アジアにおける貿易・投資の活発化、人材育成や人的交流への期待を述べた。

パネルディスカッションでは、第1ラウンドで北東アジア経済における現状と課題について、第2ラウンドではこれからの国際経済連携への展望や期待について、各パネリストの専門分野(国際経済、対口経済協力、地方の経済交流、新潟県の視点、ERINA の視点)から議論を交わした。

ERINA は変容する北東アジアに柔軟に対応しつつ、北東アジア経済の調査・研究の国際的な拠点として、その活動をいっそう深めていくこととしている。設立25周年記念事業が北東アジア地域内外の関係機関との連携・交流をますます強化していく機会となったならば、望外の喜びである。

¹ 本特集は、当日の録音をもとにまとめたもので、文責は ERINA にある。発言にある「日本海」は発言者の表現をもとに表記した。